

令和元年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少や社会保障費の増加、さらには公共施設等の老朽化対策や多発する自然災害への備えなど、依然として厳しい状況にあり、地方自治体は様々な課題に持続的かつ臨機応変に取り組んでいく必要がある。

このような状況の中、本市においては、令和元年度予算編成に当たり、事業の必要性・効率性・有効性を再点検した上で、財政の健全性に留意しつつ、第五次総合計画に掲げる事業を推進し、持続可能な魅力度の高い強靱なまちを形成するため様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計27,256,423千円、国民健康保険特別会計8,018,493千円、下水道事業特別会計1,488,161千円、農業集落排水事業特別会計38,987千円、介護保険特別会計6,295,424千円、後期高齢者医療特別会計917,629千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア 日本遺産推進事業

日本遺産の認定を受け、館林市「日本遺産」推進協議会を設立し、協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

イ 市庁舎施設整備事業

市庁舎の耐震強度を確保するため、耐震改修工事を開始した。

ウ 地域で子どもを支えるネットワーク事業

地域における子どもの居場所の確保や、子どもたちを支える体制整備のため、子どもの総合相談窓口を開設した。

エ スマート農業推進プロジェクト事業

農家の担い手不足対策と生産性向上を図るため、ICT（情報通信技術）を活用した農業の実証分析を実施した。

オ 工業団地造成事業

大島地区産業団地概略計画等を策定した。

カ 防災関係

防災基盤整備のため、防災情報伝達システム実施設計を行った。

キ 小学校施設整備事業

第十小学校屋内運動場の大規模改修工事を実施した。

ク 中学校施設整備事業

第四中学校普通教室棟及び特別教室棟の屋根改修工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 一般廃棄物処理施設整備事業

新しいストックヤード建設のための清掃センター焼却処理施設解体工事が完了した。

イ 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

ウ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和4年度までの19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事50.2mを実施した。

エ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和9年度までの12か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地664.27㎡の取得と12件の補償を実施した。

オ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和10年度までの43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事283.0m、4戸8棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場植栽工事、西部二号線歩道築造工事8.4m、区画道路改良工事10.0m、1戸3棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を882.7m、2戸2棟の建物移転等を実施した。

カ 国土強靱化地域計画策定事業

本市における国土強靱化に関する施策を総合的・計画的に推進するために、「市民・事業者と共に進める館林市強靱化計画」を策定した。

キ 三野谷公民館改築事業

三野谷公民館改築工事が完了し、社会教育の拠点施設としてだけでなく、防災設備を兼ね備えた地域防災の拠点施設としてリニューアルオープンした。

ク 向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業

東京大学先端科学技術研究センターによる「異才発掘プロジェクトROCKET」と連携し、個性豊かな子どもたちに新しい学びの場の提供や個性に応じた支援を実施した。

ケ 公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きょ整備として污水管1,345.2m、処理場整備として、施設工事委託を実施した。